

2017 年 JMIRI シンポジウム

Medical data science day

[Day 1] メディカルアフェアーズとデータベース研究

開催案内

2017 年 3 月 22 日 (水)
14:45 ~ 17:30 (受付 14:00 ~)

トラストシティカンファレンス・丸の内
(JR 東京駅徒歩 1 分)

講師

神戸薬科大学 医療統計学研究室 講師 博士 (保健学)
森脇 健介 氏

シミック・アッシュフィールド株式会社
メディカルアフェアーズ事業部門長 薬学博士
田中 弘之 氏

2017年 JMIRI シンポジウム「Medical data science day」 [Day 1] メディカルアフェアーズとデータベース研究

日程：2017年3月22日（水）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR 東京駅日本橋口徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

開催趣旨

昨今の我が国における医療用医薬品業界は、劇的な速度で事業環境の変化が進んでおります。

社会保障制度の財政的な負担増に伴う医療制度の見直し、よりエビデンスを重視した情報提供活動機運の高まり、M&Aの活発化など、事業環境変化の例は枚挙に暇がありません。変化への柔軟な対応を常々行っていくことが製薬企業に求められております。

近年の製薬業界における新たな取り組みの一つとして、医学的科学的見地から医薬品の価値最大化を専門的に担う組織の立上が活発化しています。

これら組織は、臨床試験等の企画立案対応といった旧来からある医学・科学的見地が重視される役割に加え、マーケットアクセス、HEOR、HTA、RWE、データベース研究など、高い専門性を求められる新たな取り組みも担っています。

中でもリアルワールドデータを活用する取り組みは政府や行政を巻き込んだ大きなうねりとなって高い注目を浴びる状況にあります。

このような背景のもと、製薬企業における医薬品の価値最大化活動における、リアルワールドデータ等各種データの利活用可能性について議論していく場として今回のシンポジウムを開催することといたしました。皆様と共にこれまで以上にエビデンスを重視した医薬品価値最大化にむけた活動の在り方について考えていきたいと思っております。

2017年 JMIRI シンポジウム「Medical data science day」 テーマと講演

『悪性腫瘍に対する医療技術の費用対効果評価の手法と課題』

神戸薬科大学 医療統計学研究室 講師 博士（保健学） 森脇 健介氏

『昨今の製薬会社メディカルアフェアーズ部門を取り巻く環境とこれからの役割について』

シミック・アッシュフィールド株式会社 メディカルアフェアーズ事業部門長 薬学博士 田中 弘之氏

『RWD と PRO を活用した育薬フェーズのエビデンス構築』

株式会社医療情報総合研究所 営業統括部 サービス企画グループリーダー 林 裕之

Medical data science day / Day1 のキーワード

- ・ データベース研究
- ・ メディカルアフェアーズ
- ・ マーケティング
- ・ マーケットアクセス
- ・ HEOR (Health Economics and Outcomes Research)、HTA (Health Technology Assessment)
- ・ RWD (Real world data) / RWE(Real world evidence)
- ・ PRO (Patient Reported Outcomes)
- ・ エビデンス構築

当シンポジウムのご案内は、製薬企業のメディカルアフェアーズ、マーケットアクセス、薬事、アナリティクス、マーケティング、事業企画部門のスタッフ、管理職、役員の皆様にお送りしております。



2017年JMIRIシンポジウム「Medical data science day」 [Day 1] メディカルアフェアーズとデータベース研究

日程：2017年3月22日（水）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR 東京駅日本橋口徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

スケジュール

日程：2017年3月22日(水)

14:00 ~ 14:45 受付

14:45 ~ 14:55 挨拶：株式会社医療情報総合研究所 代表取締役社長 大橋 青史

14:55 ~ 15:35 講演：『昨今の製薬会社メディカルアフェアーズ部門を取り巻く環境とこれからの役割について』
シミック・アッシュフィールド株式会社 メディカルアフェアーズ事業部門長 薬学博士 田中 弘之氏

15:35 ~ 16:10 講演：『RWDとPROを活用した育薬フェーズのエビデンス構築』
株式会社医療情報総合研究所 営業統括部 サービス企画グループリーダー 林 裕之

16:10 ~ 16:30 休憩：コーヒースタンド

16:30 ~ 17:30 講演：『悪性腫瘍に対する医療技術の費用対効果評価の手法と課題』
神戸薬科大学 医療統計学研究室 講師 博士(保健学) 森脇 健介氏

17:30 ~ 19:00 懇親会

※都合により講演者と演題は変更になる場合がございます。

会場

トラストシティ カンファレンス・丸の内
東京都千代田区丸の内1-8-1
丸の内トラストタワーN館11階
TEL: 03-6212-5211

交通のご案内

JR 「東京駅」日本橋口より徒歩1分
地下鉄 「大手町駅」B7出口より徒歩2分
「日本橋駅」A3出口より徒歩4分

参加費とお申込方法について

■ 事前振込 7,000円

■ 当日現金でのお支払い 10,000円

※資料代、懇親会代、消費税を含みます。



別紙「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、ファックス（03-3239-6842）、または同内容を e-mail（dms@jmiri.jp）でお申込ください。
参加申込用紙は弊社ホームページ（<http://www.jmiri.jp/>）からもダウンロードできます。
またウェブページ（<https://www.jmiri.com/rx/dms>）からお申込も承ります。

申込期限は2017年3月17日（金）です。参加対象者は製薬企業の方、医学系研究者の方、弊社等がご招待した方です。予めご了承くださいませようお願いいたします。

参加費は「振込」、または「当日現金」でお支払いください。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前をお願いいたします。
ご不明な点は、株式会社医療情報総合研究所（TEL：03-3239-6840、e-mail：dms@jmiri.jp、担当 長岡）までお問い合わせください。

2017年JMIRIシンポジウム「Medical data science day」 [Day 1] メディカルアフェアーズとデータベース研究

日程：2017年3月22日（水）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR 東京駅日本橋口徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

ご講演内容

『悪性腫瘍に対する医療技術の費用対効果評価の手法と課題』

神戸薬科大学 医療統計学研究室 講師 博士（保健学） 森脇 健介 氏

略歴：

<専門分野> 医療技術評価、医療統計学、医療経済学

<研究内容> 医療技術の費用対効果・社会経済的影響の評価に関する研究

臨床・医療政策上の意思決定に資するべく、様々な疾病に対する予防・診断・治療法の費用対効果について、臨床・疫学研究のデータをもとに、統計解析手法や数理モデルによるシミュレーションを援用することにより分析を行っている。

<学歴>平成17年 広島大学 総合科学部 卒業、平成19年 神戸大学大学院 医学研究科 修士課程修了、平成25年 新潟医療福祉大学大学院 博士課程 修了[博士(保健学)]

<職歴>慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 医療経済学教育研究プログラム 臨時職員、神戸大学大学院 医学研究科 医療統計学研究室 特命助教、新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 助教、講師を経て、平成26年4月より 神戸薬科大学 医療統計学研究室 講師（現在に至る）

講演の概要：

費用対効果評価とは、医療技術によって得られる効果を発生した費用とともに考慮した上で、その費用対効果や財政的影響を科学的に評価する方法である。医療費膨張の問題に直面した近年、医療技術の有効性、安全性に加えて、費用対効果の視点が非常に重要となっており、欧米諸国では多様な医療技術の費用対効果評価が実施され、診療上あるいは医療政策上の意思決定に活用されている。近年、高額な医療技術の登場で議論となっている悪性腫瘍の領域では、数理モデルを援用した費用効果分析が主流である。これは、悪性腫瘍の病勢進行や有害事象の発生を含めた患者の予後を状態遷移モデルとして構造化し、臨床試験やデータベース研究などの情報源からモデルのパラメータ推定値を得て、シミュレーションを行うものである。これにより、評価対象となる治療群と比較対照となる治療群の長期的な費用と効果を推計し、対照治療と比較した評価対象治療の費用対効果を評価することが可能である。我が国における分析事例はこれまでのところ限定的であるが、近年の中央社会保険医療協議会における費用対効果評価の制度導入の議論では、費用対効果のエビデンスの重要性が認識され、我が国の保険医療の立場で実施した費用対効果評価が必要となっている。本演題では、悪性腫瘍に対する薬物治療の費用対効果評価の事例を用いて、その分析手法を概説し、我が国における課題を整理することを通して、今後の我が国における医療技術の保険償還や価格算定のあり方を医療経済の視点から考える上での材料を提供したい。

『昨今の製薬会社メディカルアフェアーズ部門を取り巻く環境とこれからの役割について』

シミック・アッシュフィールド株式会社 メディカルアフェアーズ事業部門長 薬学博士 田中 弘之 氏

略歴：

外資系製薬会社において、マーケティング本部及びメディカルアフェアーズ本部に所属し、シニアグループマネージャー等を経験。

メディカルアフェアーズ部の実質的な立ち上げにも貢献してきた経験を持つ。これらの経験を生かし、現在、製薬会社におけるメディカルアフェアーズ部門立ち上げのサポートやMSLトレーニングをはじめ、自社MSLの育成及び派遣事業も手掛けている。

講演の概要：

これまで主に欧米で展開されてきたメディカルアフェアーズ（MA）の活動が日本に本格的に導入され始めてすでに数年が経過した。メディカル戦略やそれに基づくメディカルサイエンスリエゾン（MSL）のKOLに対する活動は、欧米の方法論をそのまま日本に導入するには様々な課題があるようである。それには、日本における製薬会社 MA 部門を取り巻く環境が複雑で、会社組織や人材面での変革が必要になることが理由の一つとして挙げられるだろう。

本講演では、こうした MA 部門立ち上げ時に起きている様々な問題や、今後 MA 部門がこのような環境下で社内外から期待される活動は何かに注目して話題を提供する。

『RWD と PRO を活用した育薬フェーズのエビデンス構築』

株式会社医療情報総合研究所 営業統括部 サービス企画グループリーダー 林 裕之

講演の概要：

近年、臨床試験から創出されるエビデンスに加え、リアルワールドデータ（RWD）を活用したエビデンス創出に注目が集まっている。

また、「患者中心の医療」をこれまで以上に重視する流れから、患者の主観報告評価である PRO（Patient Reported Outcomes）を用いた臨床評価の活用が、新薬開発の場面を中心に増加しつつある。

これら2つのエビデンス創出手法を用いた育薬フェーズのエビデンス創出の実現・活用可能性について、JMIRI が創出支援を行った事例、メディカルとコマーシャルの視点などを踏まえながらご紹介したい。



2017年JMIRIシンポジウム「Medical data science day」 [Day 1] メディカルアフェアーズとデータベース研究

日程：2017年3月22日（水）14：00 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（JR 東京駅日本橋口徒歩1分）

主催：株式会社医療情報総合研究所

参加申込用紙

※申込対象者：製薬企業にご在籍の方、医学系研究者の方

FAX 宛先 : 03-3239-6842

E-mail : dms@jmiri.jp

申込締切り : 2017年3月17日（金）

貴社名

ご所属・役職名

ご氏名

ご住所

TEL

FAX

E-mail アドレス

懇親会

ご出席

ご欠席

お支払方法

事前振込

当日現金でのお支払い

- ・上記に必要事項をご記入の上、ファックス（03-3239-6842）、または同内容を e-mail（dms@jmiri.jp）でお申してください。
- ・弊社ウェブサイト（<https://www.jmiri.com/rx/dms>）からもお申込みが可能です。
- ・申込期限は2017年3月17日（金）です。参加対象者は製薬企業の方、医学系研究者の方、弊社等をご招待した方です。予めご了承くださいませようお願いいたします。
- ・参加費について 事前振込・・・7,000円（資料代、懇親会費、消費税含む） 当日現金でお支払い・・・10,000円（資料代、懇親会費、消費税含む）
- ・参加費のお支払方法は、「銀行振込」または「当日現金」となります。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前をお願いいたします。

※ご不明な点は、株式会社医療情報総合研究所（TEL：03-3239-6840、e-mail：dms@jmiri.jp、担当 長岡）までお問い合わせください。

個人情報取扱方針

ご提供いただく個人情報のお取り扱いの方針について、以下の通り通知いたします。予め個人情報の取り扱いに関する事項にご同意の上、お申してください。

<事業者の氏名または名称> 株式会社医療情報総合研究所

<個人情報管理責任者> 株式会社医療情報総合研究所 経営企画部 部長

<個人情報の利用目的> シンポジウムの開催、運営を円滑に対処するため。サービスやシンポジウム、セミナー等のご案内のため。

<個人情報の第三者提供について> シンポジウムの申込情報は、運営協力の目的において、運営協力先であるシミック・アッシュフィールド株式会社へ開示し、当社が管理します。

第三者については、本人の同意がある場合又は法令に基づく場合を除き、取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

<委託> 取得した個人情報の取扱いの全部又は、一部を委託することはありません。

<個人情報提供の任意性について> お預かりする個人情報の内容については任意と致しますが、必要な個人情報項目が未記入の場合、参加をお断りする可能性があります。また、お問い合わせに対応できない場合があります。

<開示対象個人情報の開示等問い合わせ窓口について> ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去および第三者への提供の停止（「開示等」といいます。）を受け付けております。開示等を受け付ける窓口は、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」をご覧ください。

<個人情報保護方針> 弊社ホームページの個人情報保護方針をご覧ください。URL：<http://jmiri.jp/privacy>

<個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社医療情報総合研究所 個人情報苦情及びご相談窓口

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25 住友神保町ビル6F TEL：03-3239-6840（受付時間 月曜日～金曜日 祝祭日を除く 10時～17時）

シミック・アッシュフィールド株式会社の個人情報保護方針はこちらをご覧ください。URL：<http://www.cmic-ashfield.com/privacy/>



株式会社医療情報総合研究所